

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	3505 初等教科教育法（社会）			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	月曜2限				
教室	D110教室				
代表教員	辻 直人				
担当教員	辻 直人				
テーマと到達目標	1 学習指導要領の編成とその特徴を理解する。 2 新学習指導要領の内容と授業編成について理解する。 3 優れた社会科授業や教科書教材の分析を通じて、指導案作成や模擬授業の方法を習得する。 4 主権者育成の社会科の重要性と役割を理解する。				
概要	学習指導要領では社会科の目標として「社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。」と定められている。この授業では、小学3年生から6年生までを通して、発達段階に応じた指導を行うにはどのような技術が必要なのかを身に付け、上記目標を如何に達成するか、実践的に学んでいく。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	授業オリテ：科目を学ぶ意義、到達目標、授業の進め方、成績評価等について理解する。				対面授業
第2回	戦後民主改革と社会科の創設と変遷、学習指導要領の検討				対面授業
第3回	社会科の目指す人間像についての検討				対面授業
第4回	子どもの学びを柱とする地域に根ざす社会科授業実践の検討				対面授業
第5回	子どもの学びを柱とする地域に根ざす社会科授業実践の検討				対面授業
第6回	学習指導要領で各学年の内容について検討				対面授業
第7回	3年生における社会科の検討、模擬授業と授業分析				対面授業
第8回	3年生における社会科の検討、模擬授業と授業分析				対面授業
第9回	4年生における社会科の検討、模擬授業と授業分析				対面授業
第10回	4年生における社会科の検討、模擬授業と授業分析				対面授業
第11回	5年生における社会科の検討、模擬授業と授業分析				対面授業
第12回	5年生における社会科の検討、模擬授業と授業分析				対面授業
第13回	6年生における社会科の検討、模擬授業と授業分析				対面授業
第14回	6年生における社会科の検討、模擬授業と授業分析				対面授業
第15回	模擬授業の振り返り、改めて社会科の目標、目指す人間像について検討				対面授業
成績評価の基準	授業への参加状況 20％(発言、授業内の模擬授業への積極的なコメント) 指導案と模擬授業 50％ 期末課題 30％				
履修にあたっての留意事項	本科目は、基本的に対面授業を前提としている。受講生に模擬授業をしてもらうことを想定しているからである。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	特になし		
教科書	学習指導要領及び学習指導要領の解説 社会編、小学校教科書	教科書(ISBN)	
参考文献	辻直人「新学習指導要領社会科を乗り越える教育実践」日本生活教育連盟『生活教育』No.836、2018年7月 辻直人「『生きる力』を育む主題と教育方法に関する考察―若狭蔵之助、鈴木正気、田中裕一の社会科実践の検討を通じて―」『北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要』第3号、平成23年3月	参考文献(ISBN)	